

経営比較分析表

熊本県 苓北町

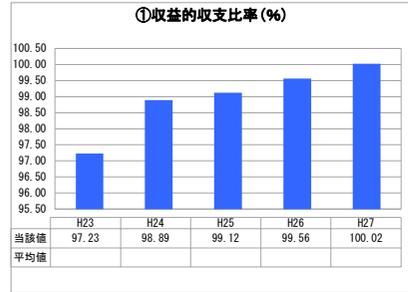
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	2.84	84.26	2,670

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,732	67.57	114.43
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
217	0.21	1,033.33

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



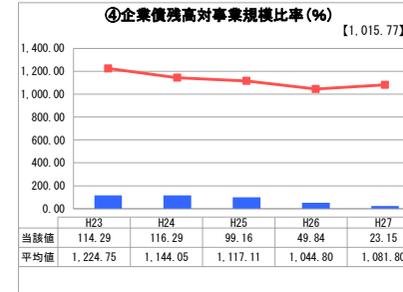
「単年度の収支」



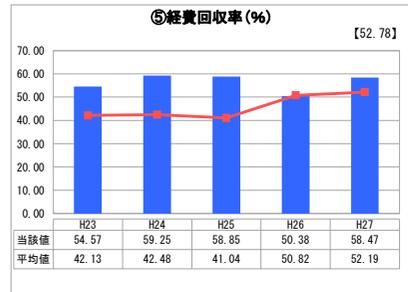
「累積欠損」



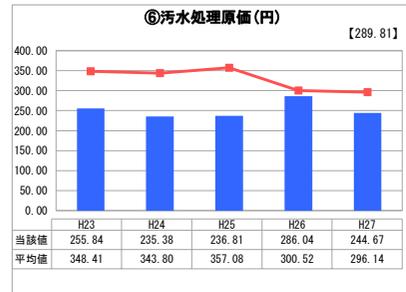
「支払能力」



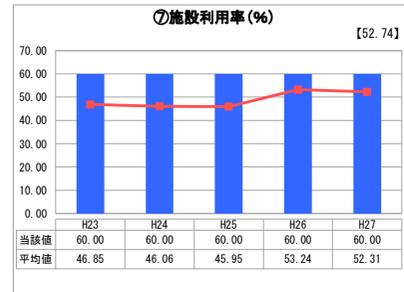
「債務残高」



「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

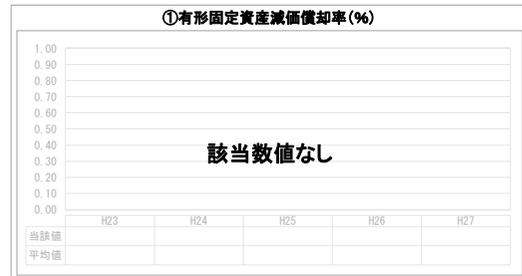


「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

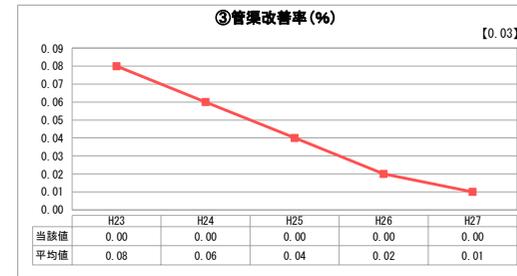
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

- 収益的収支比率：平成24年度以降、起債償還額減少により比率は上昇傾向にある。
- 企業債残高対事業規模比率：大きな修繕や設備の更新等が無い為、企業債残高は減少している。
- 経費回収率：料金収入と汚水処理原価も昨年を除くと今までと特段かわりはない。
- 汚水処理原価：全国平均及び類似団体平均値よりも下回っており、効率的に処理している。
- 施設利用率：全国平均及び類似団体平均値よりも上回っており、効率的に処理している。
- 水洗化率：全国平均及び類似団体平均値よりも約10%上回っており、今後も100%を目指し、接続率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

平成11年4月供用開始している。現在のところ目立った老朽箇所はみられないが、今後は9年以内に管渠等の老朽化が進行することが予想されることから、最適化構想に基づき、財政的な問題、現場の状況を見極めながら対応していく予定としている。

全体総括

人口減少により使用料収入の減額が見込まれるなか、今後、定期的な設備更新等に係る費用が必要となる。また財政面での厳しさが増すなか、効果的な経営戦略が必要不可欠となる。このようなことから、収入と支出のバランスに配慮しつつ準備を進めていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。